



鳥取市教育センターだより

第1号 令和元年5月21日発行

〒680-0053
鳥取市寺町150番地
TEL 0857-36-6060
FAX 0857-26-3878
E-mail
kyo-center@city.tottori.lg.jp

プラス思考で「むずかしいことを、やさしく！」

所長 東田 重高

新年度がスタートして、早や1ヶ月半が経過し、さわやかな風とともに、深緑の美しい季節を迎えました。この1年間、子どもたちや教職員の皆様が健康で笑顔あふれる学校生活を送られることを願っています。

鳥取市教育センターは、開設13年目を迎えました。日頃より運営につきまして学校関係者はもとより、多くの皆様のご理解とご支援をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、中核市2年目を迎えましたが、「すべての子どもたちが しあわせになるために」を合言葉に、本年度も学校や関係機関と連携を図りながら取組を進めていきたいと考えています。授業実践の取組の中で、算数・数学が話題となることが多いですが、最近読んだ本の中にあつた言葉を要約して紹介します。

★【人を笑顔にする算数】(あるテレビ広告より)

「+」は、たすけあう 「-」は、ひきうける 「×」は、声をかける 「÷」は、わけあう

「人を笑顔にする算数、おもいやり算」ほら、やさしいでしょ！

困っている友だちがいれば助け合い、いやなことや損な場面でも笑顔で引き受け、よく声をかけ合い、喜びも悲しみも分かち合う。ぜひ、実践して、おもいやり算のあふれる学校にしましょう。

★【今●ら 今●ら 今●ら】(「よみうり寸評」読売新聞より)

「●」に、ひらがな一文字が入ります。どんな文字が入るでしょうか？

「さ」→「今さら」…投げやりで、諦めかけた後ろ向きの気持ち

「か」→「今から」…希望、期待、新たな目標につながる気持ち

「な」→「今なら」…決意、勇気、行動、一步踏み出す意思のある言葉

「今さら」と諦めるか、「今から」と決断するか、「今なら」と行動するか、

皆さんの心には、どの「今」があるでしょうか？

子どもたちにとって、安心して学校生活ができる居心地の良い学級・学校づくりが重要となります。そのため、「今から」「今なら」というプラス思考で、「むずかしいことを、やさしく」子どもたちに笑顔で語りかける工夫を心がけてみてはいかがでしょうか？

教育センターは、ミッションを見据えながら役割を果たせるよう職員一同努めてまいります。本年度もご支援・ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



研修企画係

今年度もすべての子どもの幸せのためにも学び続ける教師をめざして、教職員研修の充実を図ります。2年目に変わることに、そして研修と学校の実践をつなぐために、継続して取り組むことのお知らせします。

教職員研修のポイント

【変わること】

- 1 基本研修6年目研修の開始
…計画・報告書なし
- 2 幼保小中連携研修
…副園長研修と特別支援教育ワークショップのコラボ研修
- 3 学校司書選択研修
…心の居場所としての学校図書館経営に活かすため、特別支援教育関係の研修から1講座選択研修

【継続すること】

- 1 コラボ研修による各校OJTの推進
…全てのキャリアステージに特別支援教育の視点を基盤とした研修を実施し、各学校における協働・実践を推進
- 2 わたしの研修マネジメントサイクル活用
…研修中に記入し復命に活かす
- 3 研修講師活用
…学校訪問による直接指導を受けることにより、各学校の運営に戦略的に活用
- 4 サポート研修
…要請を受けて各学校へ指導主事を派遣し、各学校の教育課題に応じた研修を支援



「わたしの研修マネジメントサイクル」には、事前に書き込むところがあります。(教職員研修ガイドP41) 研修内容やねらいに照らして、自校の取組状況と課題を明確にし、研修に参加することで、次の一手を見出すことができます。



ホットハートカフェ

～初任者同士 日頃の疑問や
素朴な悩みをおしゃべりしよう～

【会場】 鳥取市教育センター(第2研修室)

【期日】 6/28(金)・7/9(火)・7/26(金)
8/7(水)・9/30(月)・10/8(火)
10/28(月)・11/29(金)
12/17(火)・1/31(金)

【時間】 午後6時から7時まで

【対象】 初任者・新規採用養護教諭の希望者
(講師および教職経験年数の少ない教職員も可)

【内容】 学校で困っていることや悩んでいることを語り合う
(学級経営、授業づくり、保護者対応など)

【申込方法】 開催日の前日までに鳥取市教育センター研修企画係に本人が直接電話かFAXで申込みをしてください。

TEL 0857-36-6060
FAX 0857-26-3878

【ホットハートカフェ 参加申込書】

期日	学校名	氏名

初任者座談会のお知らせ

自主的な会です。お茶を飲みながら情報交換しませんか。

お気軽にご参加ください。

無料です。



鳥取市教育センターのホームページを見やすくリニューアルしました！！
ぜひ1度のそいでみてください！

特別支援教育係

平成19年度より、鳥取市教育センター内には適応指導教室「すなはま」を、平成28年度から鹿野町総合支所内に適応指導教室「レインボー」を設置しています。昨年度入級していた20名の児童生徒は、現在は在籍学校へ登校したり次の進学先に進んだりしています。

適応指導教室では、さまざまな理由により学校へ登校することに難しさや心配・不安がある児童生徒に対して、個別及び小集団での相談や支援を行い、集団生活に適応する力を育て、自立を促しながら、学校復帰を支援するとともに、進路実現や社会的自立をめざしているところです。

「すこしずつ なんでもチャレンジ はっけんしよう マイ・ドリーム」を合言葉に、児童生徒の心のやすらぎと元気の回復を大切にしています。「すなはま」に通ってくる児童生徒の表情や笑顔、発する言葉を通じて、変容を感じています。

不登校となる背景は複雑で多様ですが、きっかけの一つとして「学習面の困難さ」も大きな要因の一つと考えられます。また、「人一倍敏感な子（HSC）」という考え方も児童生徒理解する際に参考となる情報として、最近耳にすることが増えています。日頃から、児童生徒の実態把握を大切にしていきたいと考えます。

そして、未然防止のためには、児童生徒が不登校という状態になる前に、表情や言動から早期に兆候に気づき、不安や心配を解消する取組が大切です。そのために、日常的に児童生徒の実態を多面的に把握し理解する教職員の専門性や共感性、多くの情報が収集できる校内外のネットワーク構築に努めていくことが大切だと感じています。

適応指導教室の入級に関わらず、教育センター及びこども発達支援センターへの御相談をお待ちしています。

<すなはま>



多目的
ホール



学習室



体験活動に参加してみませんか！

原則毎週火曜日に一日又は午前半日を単位として、年間30回程度の体験活動を計画しています。

体験活動を通して、心のエネルギーを蓄えることができる機会として、大切にしている活動の一つです。

教室に通級している児童生徒だけではなく、相談室等を利用している児童生徒も対象としています。

必要のある児童生徒や保護者に情報提供していただき、体験活動への参加の希望がありましたら、鳥取市教育センターに電話連絡いただき、その後参加申込書の御提出をお願いします。

なお、毎月発行している「すなはまだより」に、予定を案内していますので参考にさせていただきますようお願いいたします。



梨の袋
かけ体験



茶道体験

<レインボー>

